

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	一茶双樹記念館維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	08	01	08
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	一茶双樹記念館	意図	市指定史跡を文化財として良好に管理し、公開施設として来館者に快適に利用してもらえるようにする。
事業内容	一茶双樹記念館の建物・庭園のメンテナンスや警備・管理委託を実施する。施設利用許可を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成2年小林一茶寄寓の地が史跡に指定された。平成3年公有化。平成4年から6年保存整備事業を行い、平成7年4月一茶双樹記念館がオープンした。オープンから19年を経過し、建物の一部には補修の必要が生じている。一方利用者はやや増加傾向にあるが、平成13年に向かい側に杜のアトリエ黎明がオープンし、相乗効果による利用増が見られた。また、平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成23年時と平成28年時に5年間の更			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 記念館開館日数	308	309	309	日	→→	
	② 施設利用日数	121	136	159	日	↑↑↑	
	③ 記念館修繕件数	2	7	1	件	→→	
	④ 施設使用率	39.30	44.10	51.50	%	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	利用者数は前年度に比べ増加した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 当該維持管理事業は、市民の財産である一茶双樹記念館に係る施設保険料及び施設修繕料が主なものであり、財産価値保全のために必要不可欠なものである。また、建物を修繕することにより、文化財を保護することができる。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,018,392	1,248,849	1,248,034			
事業費(b)(円)		1,018,392	1,248,849	1,248,034			
うち一般財源		1,018,392	1,248,849	1,248,034			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市と指定管理者との連携をとり、施設の修繕等を行う。	③取組の課題	当該施設は整備後20年経過しており、木製家具及び漆食い等において経年劣化が見られるため、今後も指定管理者と連携し、引き続き点検実施による整備計画を立てる必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	市と指定管理者との連携をとり早期に雨戸修繕を行うとともに、定期的な点検に努めた。	④今後の改善計画	施設の小破修繕・庭園管理等は、文化財としての価値を維持し必要最低限の措置であることから、今後とも引き続き指定管理者と連携をとり、来館者増加のために施設整備を図る。